

King Gnu

中毒性にご注意！
鮮やかな音像を成す
音楽的麻薬に魅せられた歓び

アカデミックな素養を下敷き、Srv.Vinci名義で2015年に活動をスタートさせた常田大希(Gu & Vo)率いる鬼才カルテット・King Gnu。ブレイク真っ最中である彼らだけに、満員御礼となった大阪ワンマンの模様をお届け！

期待に胸高鳴る、そんな純粋な表情を浮かべるオーディエンスたちを前に、開幕の狼煙を上げるは『Slumberland』だ。無機質さと熱が共存する拡声器越しのノイズな常田の声は、肌身に波動を感じるほど圧倒的で、特濃キラチューン『Flash!!!』では、さらにギアを上げる4人のアンサンブルが極彩色の景色を描写！2曲で瞬く間にフロアを掌握するなか、続いては歌謡曲のフレーバーを宿した『あなたは曇気楼』を。新井和輝(Ba)が爪弾く極太ベースリフの躍動に、テンポを落としながらも高揚感が増すばかりで、幽玄なムード漂う『NIGHT POOL』では、井口理(Vo & Key)の儂いボーカルと哀愁あるギターがKing Gnuの深淵へと深く深くダイブさせていく。例えば全ての音を分解して耳にしたいほど、4人各々が鮮烈な存在感をたたえ、かつ絶妙な押し引きでプレイするのだから、何とクレバーなことだろうか。

勢喜遊(Dr & Sampler)の硬派で正確無比のドラミングをトリガーにした『Vinyl』では、ハンドマイクに持ち替えた井口が最前線で煽りながら絶唱する様に、観客の興奮度も瞬時に最高値へ！ヒリヒリとした焦燥感を常田の感傷的なギターが強め、ピークは更新される一方だ。続いてこの日の数日前に公開となったばかりの新曲『It's a small world』。最早、予習万全のオーディエンスからは、イントロの時点で歓声が湧出！思わず顔がほころぶチャーミングなラブソングに、井口の奏でる鍵盤もステップを踏むような軽やかさだ。そして曲と曲を繋ぐ刹那の空白、覚悟を決めたようにスッと表情を変えた井口が口火を切るは『Prayer X』だ。様々なドラマを感じさせる彼らのセットでも特段哀切あるリリックは、重厚なアンサンブルで一層そのエモーションを深めていく。1曲1曲に力を燃やし尽くすような切々とし



SET LIST

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 01. Slumberland | 12. It's a small world |
| 02. Flash!!! | 13. McDonald Romance |
| 03. あなたは曇気楼 | 14. Prayer X |
| 04. NIGHT POOL | 15. Sorrows |
| 05. Diving to you | 16. Bedtown |
| 06. 破裂 | 17. ロウラヴ |
| 07. Vinyl | 18. Teenager forever |
| 08. Sympa | 19. サマーレイン・ダイバー |
| 09. Hitman | |
| 10. Vivid Red | ENCORE |
| 11. Don't stop clock | 01. Tokyo Rendez-Vous |



た4人の姿には、もう先般感じた冷静の色はなく、ただただKing Gnuというバンドの凄みを提示するのみだ。

「客席を見たら“たまんねえな！”っていう表情のお客さんもいて、本当嬉しくなっちゃう。お陰様で頑張っています」（新井）と、MCでは嬉しい言葉も。「…これは俺の休憩タイム用のMCなんでね(笑)」なんておどけつつも井口は、「これからブチ上がる曲しかやりませんから！」とスイッチを切り替え新曲『Sorrows』へと先導！どこかノスタルジックな音階に巧みな緩急あるビートが刻まれ、後半戦へと一気に走り出していく。『ロウラヴ』ではボリューム調節で自らの声すら楽器のように操るふたりのボーカリストたち。彼らが声を合わせた時のドラマティックさといったら！そして本編ラストを飾る『サマーレイン・ダイバー』へ。この曲が持つ最高純度のハビネスは、今宵のキラメキを何倍も、いや何十倍にも膨らませていく。聖歌のごとく清らかさあるサウンドメイクに、常田のスモーキーな声質と井口の清廉な歌声が織り成す柔らかな音のウェ

ーブ。眩いライティングの中、音の洪水が幾層にも溢れ出していく様は、歓びの反面、一種の恐怖すら感じるほどだ。その恐れの本体はアンコール『Tokyo Rendez-Vous』でようやく掴めたような気がする。猥雑でありながらもピュアネスな“東京”という箱を、どこかアジアな怪しさを湛えたメロで描写。足元から地鳴りを響かせる勢喜のドラミング、新井の雄弁でファンキーなリズム…全てをマーブル模様にはしゃっフルし、クラクラと恍惚の境地へと誘うそれは、音楽的麻薬と言っても過言ではない。

全20曲、一度も失速することなく、ただただ研ぎ澄まされたアクトを放出した彼ら。そのサウンドスケープは、長く深く脳内に刻まれることとなるだろう。メジャーデビューも決定し、次なるステージが今から待ち遠しい！そんな中毒性の高い時間だった。



2nd Album

『Sympa』
1.16 out!!

【King Gnu One-Man Live Tour 2019 "Sympa"】

3月17日(日)・18日(月) 大阪BIGCAT
3月22日(金) 広島クラブアクト